

深さは約八〇cmである。木簡のほかには、九世紀前半頃の土師器・須恵器、曲物、用途不明の木製品などが出土している。

なお、今回の調査では、ほかに漆紙文書が一点出土している。出土遺構は東一南五区の溝SD四六九四で、両面に文字が認められるが、漆の付着が激しく、現在解読中である。

## 8 木簡の釈文・内容

(1) □升一升大弟又□三升子弟□□<sup>〔給カ〕</sup> 210×(18)×8 065

単位に升を用いる物品の支給に関わる断簡である。左辺は割損するが、右辺下半には切り、上端には削りなどの二次的な整形が加えられており、木簡としての使用後に別の木製品に転用されている。

なお、木簡の釈読については、東北大学の今泉隆雄氏のご教示を得た。

(斉藤 篤、吉野 武〈宮城県多賀城跡調査研究所〉)



## 木簡研究 第二五号

巻頭言—木簡を観る—

二〇〇二年出土の木簡

平川 南

概要 平城宮跡 平城京跡右京二条三坊三坪 西大寺旧境内 興福寺  
一乗院跡 藤原宮跡 藤原京跡左京七条一坊 藤原京跡右京一条一坊  
藤原京跡右京六・七条四坊 飛鳥京跡苑池遺構 酒船石遺跡 坂田寺  
跡 長岡京跡 平安京跡右京三条一坊六町 東寺(教王護国寺)旧境  
内 中之島六丁目所在遺跡 長原遺跡 西ノ辻遺跡 鬼虎川遺跡 中  
野遺跡 讃良郡条里遺跡 三原石田遺跡 中林・中道遺跡 貞養院遺  
跡 上橋下遺跡 中村遺跡 箱根田遺跡 五合榎遺跡(仏法寺跡)  
下宅部遺跡 騎西城跡 騎西城武家屋敷跡 大慈恩寺遺跡 羽黒遺跡  
野路岡田遺跡 西河原遺跡 西河原宮ノ内遺跡 三堂遺跡 弥勒寺西  
遺跡 松本城下町跡中町 薬師遺跡 佐野城(春日岡城)跡 泉慶寺  
跡 仙台城跡(二の丸北方武家屋敷地区) 大古町遺跡 市川橋遺跡  
志羅山遺跡 中尊寺境内大池跡 藩校明德館跡 新城平岡(四)遺跡  
石盛遺跡 畝田・寺中遺跡 中屋サワ遺跡 南新保北遺跡 下沖北遺  
跡 浦廻遺跡 草野遺跡 屋敷遺跡 青木遺跡 黄幡一号遺跡 延行  
条里遺跡 浜ノ町遺跡 新蔵町三丁目遺跡 常三島遺跡 守護町勝瑞  
遺跡 南江戸岡目遺跡 別府遺跡 朽網南塚遺跡 下月隈C遺跡群  
高畑遺跡 元岡・桑原遺跡群  
一九七七年以前出土の木簡(二五) 坂田寺跡  
釈文の訂正と追加(六)

志賀公園遺跡(第二四号) 元岡・桑原遺跡群(第三三号)

中世木札文書研究の現状と課題

長登銅山遺跡出土の銅付札木簡に関する一試論

古代衙札木簡の平面形態に関する考察

書評 富谷至編『辺境出土木簡の研究』

彙報

頒価 五〇〇〇円 送料六〇〇円

田良島 哲

畑中 彩子

友田那々美

高村 武幸